

2017年度の事業方針(2016年度実績)

……2016年度の実績と反省……

- 1、TTAの収支面の透明性、健全化の推進、情報共有の推進し、更なるスピードのある決断と実践
- 2、参加し易い土壌作りのため、大会実施方法の日々見直しと改善 ダブルスの参加者増を
- 3、「とちぎジュニアオープン」の更なる定着化。高妻先生・笠原先生によるメンタルヘルスのジュニア教育の徹底
- 4、ジュニア育成強化基金80万円を計上し、更なる推進。
・2016.12.20 JTAによる会場正規視察----①屋板の事務室の恒久化 ②県Gの6面のナイターの恒久化 等を要望。県には、その決断と実行力に期待。
- 5、JTA後援の楽天キッズテニス支援プログラム「テニスPLAY+STAY」のレッド・オレンジ・グリーン ボールによる推進。各地区協会との連携による実施
- 6、2016年度事業推進と予算に感謝。

……2017年度の事業方針……

- 1、TTAの収支面の更なる透明性、健全化及び情報共有の推進。スピードのある決断と実践
 - ・TTAデータベースの構築、機械化の推進
 - ・JTA「テニス環境等調査委員会」と連携し、環境【温暖化防止チーム・マイナス6%運動】TTAとしても、「自分のゴミ+One運動+エコキャップ」を実施します。自分のゴミと周りに落ちているゴミの持ち帰り運動の推進
- 2、参加し易い土壌作りのため、大会実施方法の日々見直しと改善
ダブルスの参加者増を----女子連との連携
- 3、TTA組織体制の充実と共に、2017年度予算の必達、一丸となって更なる努力を。
- 4、障害者スポーツの積極的支援(ブラインドテニスダブルス大会、聴覚障害者スポーツテニス大会他)
- 5、2022年栃木国体目指し、次代を担うジュニアの強化の実現、国体強化費補助金の有効活用及び透明健全化
 - ・SCUの養成計画の策定と実施、テニス国体会場地の整備要請及び整備計画への参画、
 - ・平成29年度強化事業等に係る各種調査の推進
 - ・関ブロ突破と共に、本国体ベスト8以上を目指す
- 6、テニスP&Sの地区協会中心の推進 JTAの補助活用、TTAのバックアップ
- 7、栃木県クラブ対抗戦の推進(KTA4県対抗交流戦)